

日台 I O T 同盟

第四次産業革命は東アジアで爆発する

李登輝（元台湾総統） 浜田宏一（経済学者・国際金融論）

{ 日本人にとって最も親和性の高い民族 }

台湾は日本の統治下で近代化と日本精神を受け入れた。

{ 106歳の元日本人教師が出した手紙 }

1931年台湾代表が甲子園野球で準優勝～日本が台湾に残した日本精神を映画化・日台の交流化にも・・・当時台湾で教師をしていた高木さんが教え子達宛に手紙を書いた、台湾ではあまりにも昔のことで住所が分からず4人のチームが12日間も住所を訪ね歩いて探し出し80年ぶりの交流が再会された。

{ 大震災後の日台交流 }

1999年9月マグネチュード7,7 死者2400人超の大災害、真っ先に日本から救援の手が1000戸の仮設住宅・見舞金など。

2011年3月東日本大震災では台湾からの支援金は200億円を超えどこの国より大きな額、しかし当時の民主党政権は非礼の数々。

{ 外国で日本兵の英霊を祀る島 }

日本委任統治領パラオで日本兵1,1万人が守備、そこに米兵5万人が上陸寸前、島民900人は共に戦う決意を表明したが拒否され船で脱出させられ立腹するも、後に隊長の思いやりと分かり島民は日本兵の亡骸を手厚く埋葬。

{ 日本兵を慰霊してきた台湾人の真意 }

台中接近で大陸からの観光客は10倍以上、ところが「なんで我々こんな立ち居振る舞いが違うのか」という驚きが特に若い層で広がった。

大陸の人は未だ現代化されていないと～台湾の現代化は日本統治時代にあるとの結論が導き出された。

{ 何故政府は経済・金融政策を間違えるのか }

世界の著名な経済学者・政策担当者・ジャーナリスト約100名へのインタビュー

ユー調査～結論は「人は利害関係に左右される」「政策担当者が経済の論理を間違っ理解している」

{ I O T可能性の方向 }

技術の進歩により、センサーの小型化・低コスト化・省力化・無線技術の進歩により、例えば車のブレーキシステムにセンサーを組み込み運転中に異常を感じし日本のサービスセンターに情報が送られ、必要な部品をユーザーの国のサービスショップへ送り、ユーザーに部品の交換の必要性を連絡していち早く部品を交換して事故を未然に防止。

従来インターネットはパソコンやスマホで行われたが I O Tでは身の回りのあらゆる製品に埋め込まれたセンサーで新しいサービスや仕組みが生まれる。

{ 台湾の貿易依存度 }

GDPに対する比率120%、輸出品目の内、約74%は自動車のタイヤ・エンジンなどの中間財で、そこに I O T製品を組み込む余地あり。

{ 中国がT P Pに加入するにはハードルが高すぎる }

国有企業が多く株式時価総額の90%を占め、民有化するには国有企業の競争条件の排除や資本の自由化等、課題が多くて無理。

{ コネクトフリー京都進出の意味 }

I O Tに必要な不可欠な通信チップを生産しているコネクトフリーの創業者 (CEO) テイト・クリストファー氏 (日本名=帝都久利寿) は1988年米国生まれの若者、将来とことん日本に貢献して「大帰化」したいと (特別に功労のあった外国人に法務大臣が国会の承認で帰化を認めること～日本では歴史上未だ実在せず) 同社はベンチャーや中小企業が集まる「京都市サーチパーク」内に本社がある、同パークは約380社・4000人が集まる一大産業都市。

帝都久利寿は「日本で事業を成功させられない背景には製造業とサービス業が上手く連携できていない、機械設備が固定化していて設備を簡単に放棄できないので新しい分野にチャレンジできない」と。

世界を一変させる可能性がある I O T通信チップは台湾でしか製造できないが台湾と日本が提携することで物凄い恩恵をもたらす可能性がある。

{ 日本はカスタムメイド製品が作れない }

日本は同一品の大量生産が基本、I O Tが導入されると個別大量生産 (カスタマイゼーション) で顧客注文に応じ低価額で製品を提供できる。 P 2

米国のハーレーダビットソン社はカスタマナイズ商品を作っていて、IOT導入以前はオーダー後、約三週間、導入後は6時間に短縮して生産ライン稼働。

{ ドイツのインダストリー4・0とは }

IOTで先行しているのが米国とドイツ、独は国家プロジェクトとして推進し第四次産業革命という意味、独はGDP比に占める製造加工業の比率が約25%と他の先進国に比べ高い、「スマート工場」つまり考える工場を目玉として執行機関の事務局等を創設し各メーカー業界団体や日本の経団連に相当する独産業連盟・独最大の労組まで参画しこれら多くが一つの機関に参集する独史上例を見ないと、最高責任者は経済エネルギー大臣・教育研究大臣が就任している。

{ 米国GEが本社を移転した狙い }

GEはIOTによる製造業務のサービス業化を強力に推進、ボストンはマサチューセッツ工科大学やハーバード大学などの研究施設が集中する学術都市で2016年1月移転を発表、つまりGEはIOTを使った脱製造業宣言、同社は航空機エンジンで世界トップシェア、GEのソフトウェアセンターは社員ゼロから4年で1200人に、グーグル・フェイスブックからも転職した技術者が航空機エンジン部品製造に関与。

{ 米国IOT推進団体IIC }

2014年創設、IBMなどが中心となりドイツ企業のほか、トヨタ・日立・東芝・富士通も参加。

{ 阿蘇市にある内田農場 }

水田含め敷地は55ヘクタール、社員5人でIT農業に取り組み、内田社長は30代前半、水管理システムを導入2016年の田植えから実用化。

{ 建設機械大手のコマツ }

建設現場で最初にIOTを導入したのは2001年建機にGPSやセンサーを取り付け位置情報や稼働時間或いは燃費などを遠隔で確認程度、今では熟練者しかできなかった測量など自動的にできるまでに進歩、施工計画書を作成・通信機能を持った建機に通信され自動制御で稼働、かなりの熟練者の難作業や高精度の施工も未熟練作業員で作業可能となった。

2015年2月導入以来1000を超える現場で使われている。

{ 家電の I O T }

電気調理器や照明・冷蔵庫など白物家電にセンサーを組み込み、パナソニック・サムソンは新しい使い方を提案。

{ ヘルスケアと I O T }

オムロンは血圧計や体温計で測定したデータをスマホに集約するアプリの I O T で開発販売。

{ サイバー攻撃への対応 }

2015年7月サイバーテロが I O T に向けられたと想定する動画が米国で公開、大きな反響、某自動車メーカーはネット接続システムを掲載する自社製品 140万台をリコールに追い込まれた、セキュリティ問題も表面化、東京オリンピックでの攻防が大きな山場。

{ 真のリーダーのあるべき姿 }

台湾と日本が手を携えて I O T で世界の経済をリードしていくには政治の強いリーダーシップが求められる。

{ 失われつつある日本精神の復活を }

今でも台湾人が好んで使う「日本精神」とは大和魂或いは武士道の事、新渡戸稲造著「武士道」は1899年発刊、世界中で好評、米国のルーズベルト大統領は感激して数百冊購入、世界各国の要人に一読を薦めた。

「武士道」は公の心・秩序・名誉・勇気・高潔・惻隠の情・実践躬行、李元台湾総統は人類最高の指導理念ととらえている。

{ 理想の政治家は後藤新平 }

日清戦争によって台湾が日本に割譲1895年、日本が台湾を放棄する1945年までの50年間「近代化」をもたらした。

後藤新平は第四代台湾総督＝児玉源太郎の招聘で台湾へ、当時は治安も非常に悪く未開の地であった、最初に行ったのは人事の刷新で多くがひと稼ぎしようという官吏ばかり・高等弁務官以下1080人を内地に送還、代わって有能で志のある人材を幅広く登用した。

匪賊を投降させて仕事を与え、住民による自治制度も導入、治安が劇的に改善、上下水道を整備・衛生環境のインフラも整えた、教育の普及に注力・旧制高校の一つ台北高校の開設・台北帝大の創設と繋げた。

植民地に現地人の為の教育機関の整備は世界市場でも類を見ない。
最大の功績は農業発展に力を注ぎ経済状況を驚異的に向上させた、後藤の在任
8年6ヶ月は未開の地から近代化へ100年にも等しいほどの発展で、後藤は
回顧録の中で「台湾は3千年の太古から一躍20世紀の文化に飛び込んだ」と。

日本の統治時代に八田興一が造った1万6千kmにも及ぶ灌漑水路の事は台湾
人に万里の長城ほど知られていない。

{ 移民の受け入れより女性の活用で }

管理職に占める女性の割合は米・英・仏などは3～4割が一般的、日本は1割
前後、台湾では2割程に、執行役員は台湾で9%、日本は1%

{ 新しい歴史教育を受けた40歳以下の台湾人像 }

李台湾総統時代に政治と教育改革で台湾と日本の親和性が強まった。
2016年3月台湾の大手紙が「アイデンティティ」について調査した結果、国民
全体の73%が「自分は台湾人だ」と認識、20代の若者は実に85%一方「自分
は中国人だ」は全体の11%と過去最低「台湾の将来」について現状維持や独立
を合わせ80%超。

2016年1月の台湾総統選挙で民進党主席の蔡英文氏が勝利を収め、しかも圧
勝、同氏はコーネル大学ロースクールで法学博士、イギリスのロンドンスクール
オブ・エコノミクスで法学博士を取得した才媛で「日本との絆を深めていく」と
発言、安倍晋三首相も国会で台湾との関係を強めたいと答弁。